

SARSの正しい知識



「SARS疑い例」

次の両方の条件に該当する人

- ・平成14年11月1日以降に、38℃以上の急な発熱およびせき、呼吸困難などの呼吸器症状がある人
- ・発症前、10日以内に、WHOが公表したSARSの伝播確認地域へ渡航歴・居住歴のある人、または10日以内にSARSの「疑い例」「可能性例」を看護もしくは介護していた人、同居していた人、気道分泌物、体液に直接触れた人

「SARS可能性例」

SARS疑い例のうち、次のいずれかに該当する人

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す人
 - ・SARSコロナウイルス検査で陽性となった人
- (簡略化して掲載しています)



伝播確認地域 どこでしょうか？

伝播確認地域は

日々更新されています

6月23日現在、SARSの伝播確認地域に指定されているのは、カナダのトロントと中国の

北京、台湾です。

これまで伝播確認地域に指定されていた中国の他の地域やベトナム、シンガポールなどは除外されています。このように、SARS伝播確認地域は、日々更新されています。新しく指定される地域や除外される地域がありますので、最新の情報については長門健康福祉センターに問い合わせるか、4ページの「SARSについてのホームページ」でご確認ください。

ここで注意していただきたいのは、中国については一部の地域が指定されているだけで、中国全体が指定されているわけではありません。山口県と交流のさかんな山東省は指定されていません。中国という国名で過剰に心配する必要はありません。



どのようにして 感染するの？

SARS患者からの

飛沫感染など

SARSコロナウイルスは、SARSにかかっている人から周囲の人に感染すると考えられています。おもに、SARS患者がせきやくしゃみをした時に

飛び散る鼻汁やだ液などの飛沫(しぶき)を吸い込むことで感染する飛沫感染と考えられています。

また、手指や物を介した接触感染や空気感染などの可能性も考えられています。

現在、感染の危険性の高いと考えられていることは、SARS患者の看護や介護、同居、またはSARS患者の体液や気道分泌物に直接触れるなどの「濃厚な接触」です。



潜伏期間は どのくらい？

10日以内と

考えられています

SARSの潜伏期間は、これまでの報告事例から2〜7日間で、一部の例外を除いて10日以内と考えられています。

SARSコロナウイルスに接触する機会があつてから、体の変化に注意が必要とされる期間は10日間、この期間内に発熱などの症状が出た場合はSARSを疑わなくてはなりません。しかし、11日以上たつて何も症状がない場合は、発病の可能性が少なくなります。

※3 伝播確認地域

SARSの感染者が発生し、終息していない地域。

感染の発生した状況に関係なく、その地域で、感染が最も強く疑われる1例以上の「SARS可能性例」が報告された場合に指定されます。また、地域内で最後に感染したと思われる「可能性例」が死亡または適切に隔離されたのち20日を過ぎて地域内に新しい感染者がなければ、その地域はこのリストから除かれます。

※4 潜伏期間

病気には感染しているが、まだ症状として現れていない期間。

重症急性呼吸器症候群

SARS (サーズ)

Severe (重症の)

Acute (急性の)

Respiratory (呼吸器の)

Syndrome (症候群)